



退院後の安全な運転生活を送るために

## 自動車運転評価のご案内



昨今の道路交通事情の中で、疾患後の運転再開には様々な問題を抱えております。自動車は毎日の通勤・通学や買物には欠かせない移動手段の一つです。しかし自動車は便利な反面、社会的責任が伴います。脳の病気等、特定の病気になった方が、そのまま運転することは危険を伴います。

2002年6月に道路交通法が改訂されたことで、脳損傷者(脳卒中や交通事故などで頭や脳に一時的にでも障害を持った方)が自動車運転を再開するためには、公安委員会での運転適正相談を受けてから再開することになりました(道路交通法 第三十三条の二の三 第三号関係)。

中伊豆リハビリテーションセンターでは1973年(昭和48年)の開設初期より障害を有する方の自動車運転支援に携わっております。自動車運転支援においては、脳損傷の状況をはじめ医学的な側面とともに、神経心理学検査や運転適性検査、実車運転などの運転技能面の評価を実施しております。また、日頃の生活状況や本人の理解・自己認識など総合的に判断し、主治医・担当作業療法士より運転再開に関する助言をご本人・ご家族に行っております。



センター内、自動車運転教習所における訓練風景

「自動車運転」は現在社会において必要とされる事が多い活動です。その一方、自他共に危険が隣合わせである事はご存じの通りです。当センターでは入院患者さんが退院後に安全な生活を送ることができるよう支援を行っております。

## ボトックス外来のご案内

中伊豆リハビリテーションセンターでは、ボトックス外来を行なっています。

### ボトックス外来とは…

ボツリヌス毒素(食中毒の原因菌のボツリヌス菌が作り出す天然のたんぱく質)を少量含んだ薬剤ボトックスを筋肉に注射する治療です。



適応は、脳卒中などの後遺症による痙縮



・手足のつっぱり  
・手の指が握ったままで開きにくい



・肘が曲がって伸ばしにくい



・足先が足の裏側のほうに曲がってしまう

### ボトックス注射の効果

- ・手足の筋肉がやわらかく、動かしやすくなることで日常生活での動作が楽になる
- ・リハビリが行ないやすくなる
- ・関節が固まったり、変形するのを防ぐ
- ・手足のつっぱりによる痛みをやわらげる
- ・着替えなどの介護の負担が軽くなる

ボトックス注射の効果は、注射後2～3日で徐々にあらわれ、通常3～4ヶ月持続します。注射の効果は、その後徐々に消えてしまうため、年に数回治療を受けることができます。はじめに、専門の医師による診察を受けていただく必要があります。

ご希望の方は、中伊豆リハビリテーションセンター外来担当までお電話下さい。

### 担当医師

リハビリテーション科 **園田 昌毅** (外来日:水曜日9時～11時 14時～14時30分)  
そのだ まさき

発行集

社会福祉法人  
農協共済中伊豆リハビリテーションセンター

〒410-2507静岡県伊豆市冷川1523-108 TEL.0558-83-2111(広報委員会)

中伊豆リハビリテーションセンター



発行日 平成30年8月15日

